

# 親子のこころ

## 親のこころ

— 言いつ放しに  
なっていないか? —

大人たちは、いろいろな場面で「自分で決めなさい」と子どもたちに言っているように思います。では、いったいどのような時にその言葉を使っているのでしょうか。言いつ放しになってはいないだろうか少し気になります。実際に子どもたちの中には「自分で決めなさい」と言われて、困ったり、悩んだりしている子もいます。何の情報も方法も知らないのに何をどうすればいいのかと思ったり、親からあきらめられたと思ったりするようです。

子どもたちとのかかわりの中で感じることは、誰かと一緒に考えるという体験の積み重ねによって、自分で判断し、決定する力が身についていくということです。また、その体験の過程で「失敗しても大丈夫」「分からなくなったら誰かに相談すればいい」という安心感を得ることも大切です。もう中学生だから、高校生だからと決めつけず、時間と手間がかかっても、具体的なより良い方法を一緒に考え、導いていくことがまだまだ必要なのかもしれません。

わたしたち大人は“どこから子どもに任せるのか”を、子どもの年齢だけではなく、状況に応じて考え、子どもの力を信じ、試しながら徐々に手を離していくことが大切なことのように思います。



**教育相談センター「鶴山塾」** 学校のこと、友だちのこと、  
山下87番地 ☎22-2523 家族のこと、気軽に相談してください

# つやま新産業創出機構

## 産学官

### Vol.4 強い農業を目指して

**★農業の現状**  
現在、農業を取り巻く状況は担い手の高齢化や後継者不足、外国からの貿易圧力など、深刻な問題が山積しています。今後はこのような問題に対応できる力強い農業へ進化させていかなければなりません。

**★農業支援とその体制**  
つやま新産業創出機構の産業振興策の一つに農業支援があります。他の地域に先駆けた特徴のある農産物の生産や、地域における農産物生産者・食品加工業者・流通販売業者の連携を支援しています。

機構には、農産物生産者や食品加工業者、流通販売業者のほかに、機械メーカー、美術大学・津山工業高等専門学校などの教育機関、国・県などがかわり、消費者やメーカーの視点に立った取り組みができる体制が整っています。

**★六次産業の構築**  
特徴のある農産物を地域で安定的に生産することで、食品加工業者は付加価値のある加工品を作り、流通販売業者

はそれを地域特産品として販売することが可能となります。いわば、地域内で一次・二次・三次産業が連携した六次産業が構築され、地域の産業振興の推進力となることができるとのことです。

最近話題となっている津山産小麦（ふくほのか）を使った「津山ロール」「津山餃子」などは、この取り組みで商品化されたもので

**★ふるさとを守る役割も**  
農業の振興は産業としての役割だけでなく、津山の郊外に広がる美しい田園地帯や里山を守る重要な役割も担っています。

つやま新産業創出機構では、多くの皆さんにこのような取り組みを理解していただけるよう、今後も努力していきます。



▲津山ロール



問い合わせ先 つやま新産業創出機構 ☎24・0740

## エコるびー

### スプレー缶は必ず穴を開けて!

昨年1年間で5件もごみ収集車の火災事故が起きました。原因は不燃ごみとして出された、ヘアスプレーや殺虫剤などのスプレー缶、カセット式ガスボンベに残った可燃性ガスだと思われまます。ごみ収集の作業員が大げがをする恐れがあり、大変危険です。また、使い捨てライターも、可燃性ガスが残っていると火災の原因になります。

皆さん、正しい分別と処分をお願いします。

**★スプレー缶・カセット式ガスボンベ**  
使い切った屋外で穴を開け、資源物の「缶」へ使い捨てライター

※勝北地域の人はどちらにも「小型不燃ごみ」として出してください

※スプレー缶とカセット式ガスボンベは次の場所でも引き取ります

- ・ウエストランド(二宮)
- ・イオン津山店(河辺)
- ・市役所駐車場南側(山北)
- ・リユースプラザ津山「くるくる」(山下)
- ・青空リサイクルプラザ(午前9時～正午)
- ・ハビーマート東一宮店駐車場(東一宮) 毎月第1・3日曜日
- ・カインズホーム津山店駐車場(高野本郷) 毎月第2土曜日
- ・ウエストランド駐車場(二宮) 毎月第2・4日曜日

スプレー缶には必ず穴を開けていかなさ

環境奉行「エコるびー」

問い合わせ先 環境事業所 ☎22・8255

## けんこう広場

### かけがえのない命をみんなで守ろう

「孤立」は「自殺」のキーワード 絆と気づきで自殺予防

日本では毎年3万人以上の方が自殺で亡くなっていることをご存知ですか？

自殺は、個人の意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因によって心理的に追い込まれた末の死です。1人の自殺(未遂)は周囲の5～6人に深刻な心理的影響を与えるといわれています。

自殺を考えている人は精神的に孤立感を募らせている場合が少なくありません。「もしかして自殺を考えているかも」といった印象を受けたら、そのことについて直接質問しても構わないので、まず話をするようにしてください。どのような会話であっても、話をしたり、月に1回訪ねたりするだけでも効果があります。

SOSサインが多く認められる場合は、早い段階で相談機関や医療機関への相談・受診を勧めましょう。

**〈見逃がさないで! 命のSOSサイン〉**

1. うつ病の症状に気がつける
2. 原因不明の体調不良が続く(不眠、食欲不振、体重減少など)
3. 酒量が増す
4. 安全や健康が保てない(自暴自棄になる、健康管理をやめるなど)
5. 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
6. 職場や家庭でサポートが得られない
7. 本人にとって価値のあるもの(職、地位、家族、財産)を失う
8. 重症の病気にかかる
9. 自殺を口にする
10. 自殺未遂に及ぶ(自傷行為)

自殺予防の十箇条(厚生労働省)

問い合わせ先 健康増進課 ☎32-2069

